

- 鑑賞時間
- ① 大手町ビル = 8:00-22:00 | 土・18:00 | 日祝 休館
 - ② 三菱ビル = 8:00-22:00
 - ③ 新東京ビル = 7:00-23:30 | 土・22:00 | 日祝・10:00-22:00
 - ④ 国際ビル = 8:00-23:00 | 土・22:00 | 日祝・10:00-22:00
 - ⑤ 有楽町電気ビルディング北館 = 8:00-23:00

関連イベント1

2023年10月14日(土) 定員30名 予約制
14:00-16:00
多文化理解における視覚芸術の役割
異質の文化を理解するために、視覚芸術という媒体がどのように効果的に機能するのかをテーマに、映画「マイスモールランド」を監督された川和田恵真さんとIMM東京を主宰する岩井成昭が対談します。



関連イベント2

2023年10月28日(土) 各回10名 予約制
①10:00-12:00
②14:00-16:00
作品・地域・異文化・リンケージを考える都心回遊型美術ツアー
鑑賞者と出品アーティスト、主宰者の岩井成昭が展示会場を巡りながら、大丸有という地域でリンケージを考えます。

予約、定員、会場の詳細は公式サイトよりご確認ください。

イミグレーション・ミュージアム・東京(IMM東京)は、日本国内に在留する海外ルーツの人々の日常生活や、言葉だけでは伝えきれない想いを、現代アートの手法を用いて表現するプロジェクトです。「ミュージアム」という名称でありながら施設を持たず、これまで、街なかの空き店舗や教会、古民家などを転々と移動しながら展示やイベントを開催しています。美術家の岩井成昭が主宰するIMM東京は、2010年に東京都小金井市で発足しました。2013年からは「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」(足立区やアーツカウンシル東京などが主催する市民参加型アートプロジェクト)の一環として運営されています。

IMM東京のユニークな取り組みのひとつが、2020年から始めた多国籍美術展です。これは海外にルーツをもつ日本在住の人々を対象に、彼らの生活に息づく文化から生まれた作品や表現を募集し、それらを紹介するものです。東京ビエンナーレ2023ではこの活動が、東京都心の大丸有エリア(大手町・丸の内・有楽町)を回遊するまちなか美術展として実現します。

展覧会名は「It's Not a Cultural Showcase, but a Window to the Soul」(それは文化のショーケースではなく、心の窓)としました。本展では、オフィスビル等のフロアの一角にある「ショーケース」を都心の地域資源としてとらえなおし、IMM東京の展開する公募展会場として活用します。東京のまちなかで「都会にあるエアポケット」と出会い、その出会いが作品のイメージとともに鑑賞者や出展者の記憶の一部となる——そのような、場所と記憶が連鎖(リンケージ)するような公募展を目指します。長くこの地で暮らす住民の人々や、世界各地から集まる人々が目まぐるしく交差する国際都市を舞台に、多様で豊かな生活様式や文化背景、そこにある想いなどを知るきっかけとなり、さまざまなバックグラウンドをもつ人々がゆるやかにつながる場所となれば幸いです。

美術家、IMM東京 主宰 岩井成昭

Immigration Museum Tokyo 公募展 会場マップ

It's not a cultural showcase, but a window to the soul

2023.10.7 sat — 11.5 sun 鑑賞無料

展示会場: 大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリアにあるショーウィンドウ
主催: 一般社団法人東京ビエンナーレ
共催: 大丸有アートアクション実行委員会
協賛: 三菱地所株式会社
特別協力: 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
協力: アートアクセスあだち 音まち千住の縁、秋田公立美術大学
会場協力: 三菱地所プロパティマネジメント株式会社
ディレクション: 岩井成昭
企画・制作: IMM Open Call Project Team 2023 (西川汐・櫻井莉美)



東京の地に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ2023
リンケージ つながりをつくる

https://tokyobiennale.jp/
後援: 千代田区、中央区、文京区、台東区 ほか
助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】ほか
補助事業: 令和5年度日本博2.0事業(補助助) 独立行政法人日本芸術文化振興会/文化庁



1 大手町ビル B2F

鑑賞時間=8:00-22:00 | 土-18:00 | 日祝 休館

出展作家・タイトル

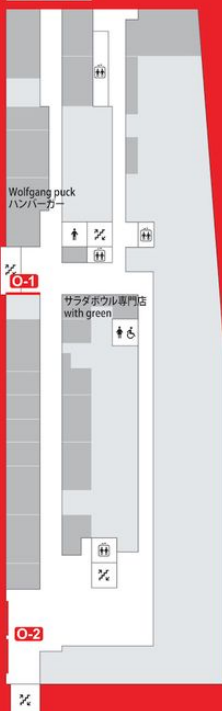
O-1 / B2F

- 1=シェード・リン 「Little House」
- 2=INHO 「蟠桃 "Saturn peach"」
- 3=d.Fect 「Sunday Morning」

O-2 / B2F

- 4=Karin G Nomura 「One soul in between worlds」
- 5=トリパティ・シュレヤス 「運の積み重ねと東京の夜」
- 6=王子文 「The Shape of Time - I, II, III」
- 7=Becca 「Photography Through an iPhone」

B1F展示場所



2 新東京ビル B1F-1F

鑑賞時間=7:00-23:30 | 土-22:00 | 日祝-10:00-22:00

出展作家・タイトル

S-1 / B1F

- 8=Leng 「Dancin' Through」 「Sky Flames」
- 9=Bix Fife 「LA CACHETTE (ラカシェット) / 秘密基地」
- 10=Ana Sofia 「Cafecito ¡Que Rico!」

S-2 / B1F

- 11=Roxy みずき 「①海の癒し ②木上花(花器) ③バイン ④木の酒入れセット ⑤蛇の玉 ⑥花のドーナツ/スプーン置き ⑦お香入れ」
- 12=Maria Ibanez Sandoval 「Mending & Remending: Nippon-Latin American Landscapes in Ibaraki」
- 13=王やゆう 「生命の律動 (The Rhythm of Life)」 「不死鳥」

S-3 / 1F

- 14=ひろしまPCAMP 「チャレンジ!存在を世界に伝えよう! 私たちが生きる爪痕を残して!」
- 15=Japan Bridge 「Family, Home, Hopes, and War」

B1F展示場所



1F展示場所



3 国際ビル 1F-2F

鑑賞時間=8:00-23:00 | 土-22:00 | 日祝-10:00-22:00

出展作家・タイトル

1F展示場所



- K-1 / 1F** *作品は、自由に持ち帰れます。
16=エリース・ラウル 「SAMENESS」
- K-2 / 1F**
17=在日クルド人と共に 「クルド料理のレシピ」
18=Anju Gurung 「手編みのオブジェ」
- K-3 / 1F** *作品は、自由に持ち帰れます。
19=コレクティブ Mitsukaido 「Interweaving Landscapes: Latin American Diaspora in Japan」

2F展示場所



- 出展作家・タイトル
- K-4 / 2F**
20=揺 「夢の観測者」
21=Calorine Sato 「Morning cuppa on tea dyed washi」

4 三菱ビル B1F

鑑賞時間=8:00-22:00

出展作家・タイトル

M-1 / B1F

- 22=Charan Reddy チャラン・レッテ ちるらん りでり 「skeleton in three positions」 「A Portrait of a Prince (華頂宮博経親王)」
- 23=木村のぞみ 「四肢生物」
- 24=Barbara Kuhn クーン バーバラ 「Felsengang - nachmittags 01 岩の呼吸 - afternoon 01」

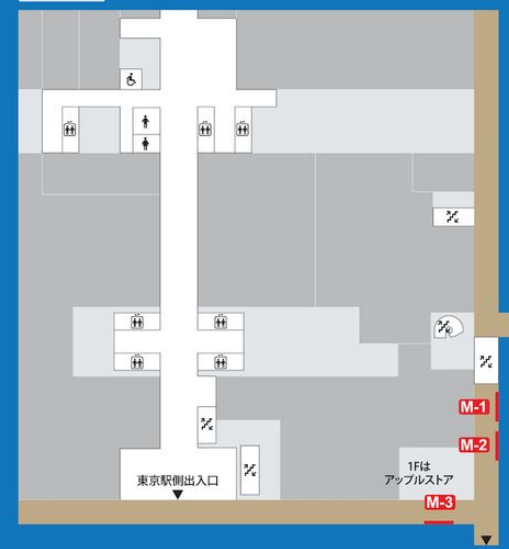
M-2 / B1F

- 25=印イエニ 「12年特別/帰国子女」
- 23=木村のぞみ 「四肢生物」
- 26=Gao Zijin (3 works) left to right: 「Deconstruction No.2」 「Deconstruction No.1」 「Deconstruction No.3」
- 27=Riska Hapsari 「咲いてるにも枯れるにも、美しい見つけられる Whether it's blooming or withering, you can find something beautiful」

M-3 / B1F

- 28=長江春子 「集まる、つながる「春」」

B1F展示場所



5 有楽町電気ビルディング北館 B1F

鑑賞時間=8:00-23:00

出展作家・タイトル

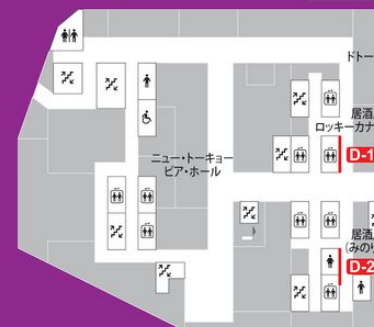
D-1 / B1F

- 29=hay 「月刊東京」
- 30=Ima Hikmatul Hasnah ハサナ 「Homebound Melodies」
- 31=SCHULZ ISAAC 「Triumph of Galatea」

D-2 / B1F

- 32=Cedric Rolando - neoyume 「A tribute to an Oshiruko Can」
- 33=劉セイラ 「テキトー中華レシピ『西红柿炒鸡蛋』(漫画『中華は難しい!』より)」
- 34=ロ テンセキ 「Presence: Pupil Mimicry」

B1F展示場所



本展覧会は、歴史あるビルにひそむ普段は見落としかちの空間にも着目しています。それは、在留者、移住者の存在が見えづらいうる現状に似ているのかもしれない。

ぜひ、ビルの空間を楽しみ、彷徨いながら作品と出会って頂ければ幸いです。